



カーニバルだけじゃない！ ブラジルの国民的なお祭り、 フェスタ・ジュリーナ

フェスタジュリーナ（フェスタは祭り、ジュリーナは6月）はブラジルの収穫祭です。この時期になると、学校やイベント会場など様々な所で行われます。今回は、学校法人ムンド・デ・アレグリア校のフェスタ・ジュリーナ（*）にお邪魔しました。

このムンド・デ・アレグリア校は、2003年ペルー人学校としてスタートし、その後ブラジル人学校も開設されました。南米系外国人の子供たちが母国の教育を受けており、現在、幼稚園児から高校生まで約280名が通っています。日本語・日本文化の教育もしていますが、母国の文化も大切に、様々なイベントを開催しています。

フェスタ・ジュリーナで特徴的なのは何と言っても、田舎風の格好をすることです。女性はチェックか小花柄のワンピースを着て、ピンクのほほ紅にそばかすのメイクをします。男性はチェックのシャツに麦わら帽子、そしてひげを描いて、まゆげをつなげます。

そして、クアドリーリヤというフォークダンスを踊ります。相手が変わりながら、男女一組で踊るので、いろいろな人とダンスを楽しむことができます。このお祭りがブラジルでは出会いの場だったとの話も納得です。ダンスの中で「Olha chuva（雨だー）」「Olha o braço（へビだー）」などの掛け声が聞こえたら、みんなで同じリアクションをして楽しめます。



ブラジルといえば、「サンバ」が有名ですが、「フェスタ・ジュリーナ」もチェックしてみたいいかがでしょうか。

*7月開催のため、フェスタ・ジュリーナ（フェスタは祭り、ジュリーナは7月）と名前を変えています



ピエロの口が目掛けてのボール投げや、魚釣りゲームもあります。子供たちは夢中になって遊びます



どうもこしやさつま
いも、ナッツの料理
&お菓子が並びます



イベントでは、クラスごとにダンスをしました。幼稚園児はとても元気いっぱい、高校生は息の合ったダンスで、会場を盛り上げます。保護者もたくさん集まるので、熱気が伝わります



ブラジルのお祭りですが、ペルーのダンスやミュージカル、和太鼓クラブの披露もありました。いろいろな国の文化が楽しめるのも、この学校ならではの！

